

■事故の概況

人と車参照



事故類型：人対車両

発生日時：雨天 夕方

当事者A：普通乗用車 40歳代 男性

当事者B：歩行者 70歳代 女性

■ 事故の概要

Aは往復二車線の直線道路を時速約35kmで走行していました。対向車線は渋滞していて、車両はほとんど止まっているように見えました。

突然、その渋滞している車両の間から男性歩行者が飛び出してくて、A車の直前を横断しました。Aは急ブレーキを踏み、かろうじてその歩行者を避けることができましたが、そのあとに続いて、駆け足のBが飛び出してきたので、避けることができずに衝突しました。

Bは早く家に帰りたいという心境で、数メートル先に横断歩道があるのを知っていましたが、前の歩行者が横断し始めたのを見て、その人に続き横断を開始し、A車と衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Bの車両直前横断（飛び出し）が原因です。高齢者は身体的な能力が衰えている場合がありますから、同じ幅の道路を若い男性と同じ時間で横断できるとは限りません。飛び出しが危険なことだとBは認識していましたが、早く帰りたいという気持ちで横断してしまったようです。早く帰りたいのに事故を起こしてしまえば、元も子もありません。

急いでいても、少し先の横断歩道を渡った方が早く家に帰れる結果となってしまいました。

Aも雨で見通しが悪くなっていることや、対向車の渋滞に気付いていたのですから、もう少し速度を落として走行していれば、衝突を避けられたかもしれません。